

(1面のつづき)

められており、環境問題への対応意識も感じられず、民主的なプロセスを踏んでいるとは言いがたい。

(4) IIRカジノを推進する行政姿勢は容認しがたい

中枢連携都市圏問題では、多くの町民の声を無視

して、町民や子ども達に負の遺産を残す賭博場であるカジノ誘致を応援する内容が盛りこまれた。事は、決して容認できない。

(5) 原発再稼働容認・大規模災害対策

自然再生エネルギーへの転換の先頭に立つべき町政が、安倍内閣に追隨して原

発再稼働を容認している。

原発の重大事故対策にも無関心・無防備な態度を続けている。

重罪災害が頻発する今日、町民の安全を守る、防災担当職員の養成もなおざりにし、兼務で対応。

など、全体として前進面に乏しい予算となつてい

る。

今回の予算には、小さくとも輝く自治体、佐々町を築いていくという気概が感じられない。是非とも、この討論で指摘した課題について、真摯に吟味され、予算補正など改善の努力をされることを求める。

さと納税積立なども投入すれば十分に実施できる金額です。

町長は、私も子育て世帯の応援は同意見だ。少子化の背景には所得の問題も一因ということにはわかります。しかし、佐々町では3

〜5歳児の園児数が457名おられ、他所より多く、年間の副食費支援には二四六七万円必要であり、きびしい金額とご理解いただきたい。町として今後どうするかというのは検討させていただきますという答弁でした。

子育て応援というならば、保育所給食費くらいは無償化すべきと考えますが、みなさんはどうお考えですか。

## ごみ処理費用抑える方式の検討を求める

質問 香川県三豊市で採用されている「トンネルコンポスト」方式のごみ処理

方式を視察して、コスト的にも、エコの観点からも優れているという印象を得た。今後の取り組みとして検討を求める。

町長 ごみ処理は、短中期的には自前での処理が求められる。時間的な余裕もなく他の方式期の検討は出ていない。現状の方式のまま修繕をやらざるを得ないのではないかと思っております。

## ジェンダー平等に向け、女性幹部の登用を

### 女性が働きやすい職場めざす

質問 女性幹部の登用が少ない。課長の中に女性が1人もいない。

ひとつの要因として、時間外18時間・滞留時間25時間と、業務外で月に43時間も勤務する役場の現状は女性が働き続けるには過酷すぎる。

女性幹部を育成していくプログラムをきちんと整えるべきではないか。

総務課長 男女共同参画の推進教育に基づいてすすめていますが、なかなかうまく進むものではありません。地道な研修会の開催、意識改革から進めさせていただきます。

女性が働きやすい環境、職員すべてが働きやすい環境を目指して努力して参りたいと思います。

## 保育所給食(副食費)の無償化を

昨年10月から「保育料無償化」が実施されましたが、対象は3才児〜5才児のみで、乳幼児や3才児未満は対象外です。しかも、3才児以上でも給食費は別途負担。主食のお弁当を準備した上に、毎月四五〇〇円を負担しなくてはなりません。

3月議会で、日本共産党の永田勝美議員は保育所給食(副食費)の無償化を町の責任で行うよう求めて質問しました。

永田町議は、保育所給食費を負担している子育て世帯の、実質可処分所得は、1997年(平成9年)をピークに下がり続け、最新の統計では1985年(昭和60年)の水準を割り込んでいます。いまの子育て世帯は、昭和の時代より「貧しく」なっているのです。

その上に、消費税10%に

財源はありません。無償化



にかかる費用は年間約二五〇〇万円と試算されています。一方で保育にかかる一般財源は減っており、ふる

